

2024年7月5日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

大東グループ様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長 岩崎 俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、株式会社大東様を中核法人とする大東グループ様（北海道登別市、代表取締役社長 丹山 東吾様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	株式会社大東 / 株式会社大東フーズ
所 在 地	北海道登別市鷺別町6丁目31-1/石狩市新港西3丁目764番地10
代 表 者	代表取締役社長 丹山 東吾
業 種	パチンコ業/飲食業、食肉加工・卸売業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

北洋銀行グループ経営理念：お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく

サステナビリティ経営方針

「関わるすべての人たちと共に築く、持続可能な幸福な未来」

大東グループは、環境への配慮、社会的責任、経済的な調和と課題解決に取り組み、関わるすべての人々を笑顔にすることを大切に、持続的な企業価値の向上と社会全体の豊かさに貢献します。

Philosophy

企業から“**嬉業**”へ

お客様に笑顔を生み出し
協力会社に信頼され
地域に愛される仕事を通して私たちは成長します。
数字だけを追うのではなく、
関わるすべての人々を笑顔にする。
大東グループの成長はエンドユーザー、
ビジネスパートナーとともにあります。

事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済への加速

社会

- 人口減少 ・ 少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化、食品ロス対応
- 働き方改革の進展
- 人口減少による地域経済停滞
- 地方創生の貢献に対する重要度の高まり

ガバナンス

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 情報セキュリティへの対応
- 企業の社会的責任に対する重要度の高まり



重要課題（マテリアリティ）

1 働きがいのある職場づくり

2 環境配慮経営の強化

3 地域社会との共生

4 生産性の向上

5 ガバナンス体制の強化

取組内容

- ① 従業員エンゲージメントの向上

- ① 温室効果ガス排出量の削減
- ② フードロスの削減
- ③ プラスチック使用量の削減

- ① 安心・安全な商品サービスの提供を通じた社会の豊かさ創造
- ② 地域貢献活動の推進

- ① DX/業務効率化の推進

- ① BCP体制の構築
- ② お客様満足度の向上
- ③ 情報管理/コンプライアンスの強化
- ④ 強固な経営体制の確立

主なステークホルダー

従業員

お客様
ビジネスパートナー
地域社会・地球環境

お客様
地域社会

従業員
株主

地域社会
お客様
株主・従業員

サステナビリティ経営への取り組み



SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

経済・ガバナンス



当社は法令を遵守し、社会倫理を尊重し、コンプライアンス体制の強化推進に取り組み、健全で良識ある企業倫理を築き、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 経営理念やSDGsの取組みの社内共有
- コンプライアンス体制の構築
- 法令順守の徹底

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
生産性の向上	DX推進/業務効率化の推進	■ 2027年度末までに経理業務のシステム化を実現する
ガバナンス体制の強化	BCP体制の構築	■ 2024年度末までにBCP計画を策定する
	情報管理/ コンプライアンスの強化	■ 2024年度末までに管理規定を策定する ■ 外部講師を招いた情報管理・コンプライアンス研修を年1回実施する
	強固な経営体制の確立	■ 2025年度末までにグループ経営計画を策定する ■ 内部監査を年に1回実施する

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2024年6月 株式会社大東

社会・地域



業界が抱える負の側面と向き合い、社会的存在価値が向上される事に努め、生き生きと働ける職場環境作りを目指し企業市民として地域の方々と町の活性化に取り組み、皆様に愛されるサービスのご提供に励み責任を果たします。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 分煙、依存症対策の徹底
- 地域の活動への賛助
- 地元人材の積極採用
- 健康診断の受診徹底

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
働きがいのある職場づくり	従業員エンゲージメントの向上	■ 2028年度末までに人事制度を刷新する
地域社会との共生	地域貢献活動の推進	■ 全国の名産品を取り寄せ、お取り寄せ賞品として販売計画を年に1回実施する ■ 年に4回駐車場スペースを活用したキッチンカーイベントを計画し実施する ■ 2024年度より地域内におけるゴミ拾いを実施する

環境



私達は、地球環境問題を重要視し、地球環境への負荷軽減や持続的社会的実現のため、環境への配慮に取り組んでまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 環境に配慮した店舗企画・運営
- 広告のペーパーレス化促進
- 遊技機器のリサイクル促進
- デマンド監視システムによる節電

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
環境配慮経営の強化	温室効果ガス排出量の削減	■ 2024年度末までにCO2排出量の算定を行い、2025年度中に削減目標を設定し取り組みを推進する ■ 2025年度末までに省エネ診断を実施する ■ 2024年度末までに自家消費型の太陽光発電を導入の検討をする

サステナビリティ経営への取り組み



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2024年6月 株式会社大東フーズ

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

経済・ガバナンス



法令順守を徹底し、利益だけを追求するのではなく、商品の安心安全に配慮した持続可能な経営を行います。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 経営理念やSDGsの取組みの社内共有
- コンプライアンス体制の構築
- HACCPの取得
- 事業継続力強化計画の策定
- 店舗、工場、管理のDX化
- お客様問い合わせ窓口の設置

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
生産性の向上	DX推進/業務効率化の推進	- 店舗オペレーションのDXに向け、2024年度末までにテーブルオーダー、自動会計の導入を行う - 人時売上高を2030年度末までに20,000円にする。 2029年度末までに管理業務を主体としたDXポイントを抽出し、2030年度末までにその課題をクリアする
ガバナンス体制の強化	BCP体制の構築	2024年度末までにBCP計画を策定する
	お客様満足度の向上	2025年度末までにアプリ機能を拡充する
	情報管理/コンプライアンスの強化	2024年度末までに管理規定を策定する - 外部講師を招いた情報管理・コンプライアンス研修を年1回実施する
	強固な経営体制の確立	2025年度末までにグループ経営計画を策定する - 内部監査を年に1回実施する

社会・地域



持続可能な社会の構築と地域貢献を重視。これにより、共に豊かな未来を築く努力を続けます。

また、地域に密着した経営を行います。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 調理マニュアルや研修制度の整備
- 地域のコメ農家との連携
- 地元人材の積極採用、年代を問わない活躍の場創出
- 地元食材の積極的な使用
- 地域団体への協賛活動や災害時の炊き出し実施

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
働きがいのある職場づくり	従業員エンゲージメントの向上	2024年度上半期に従業員エンゲージメントの測定を開始する 2024年度中に人材育成制度を刷新を企画し、2025年度より運用を開始する 2024年度中に人事制度刷新し、2025年度より運用を開始する
地域社会との共生	安心・安全な商品サービスの提供を通じた社会の豊かさ創造	- 外部講師による接客マナー研修を年1回以上実施する 2030年度末までに原材料トレーサビリティをシステム化する 2028年度末までに道産原料使用割合を30%とする 2030年度末までに仕入の一部を内製化する
	地域貢献活動の推進	2024年度末までに地域食材を活用した新規の商品開発を3件以上とする - 地元人材の採用に取組む

サステナビリティ経営への取り組み



SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境



当社は、環境に対する責任を重要な課題の一つとして重視し、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーの活用、廃棄物削減に注力。従業員と共に持続可能な未来を築くことを目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 環境に配慮した店舗企画・運営
 - 適正在庫による光熱費の削減
 - 廃油の再利用
 - ポイントカードのアプリ切り替えや日報の電子化
- 調理器具や冷凍庫のエネルギー効率最適化
 - ごはんお替り無料による食べ残し削減
 - 肉処理技術向上への取り組みによる食品ロス削減
 - 環境に配慮した資材への切り替え

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題	取組内容	目標・KPI
環境配慮経営の強化	温室効果ガス排出量の削減	■ 2024年度末までにCO2排出量の算定を行い、2025年度中に削減目標を設定し取り組みを推進する。 ■ 2024年度末までに省エネ診断を実施する ■ 2024年度末までに自家消費型太陽光発電の導入を検討する
	フードロスの削減	■ 2024年度中に食品ロス率を定量把握し削減に向けた目標を設定する。
	プラスチック使用量の削減	■ 2024年度中にプラスチック利用量を定量把握し削減に向けた目標を設定する。